

みしま市民新聞

編集人 堀 考信
三島市徳倉813-3
サンヴェール三島506号
TEL&FAX 055-988-1926
Mail:wsigdx@mail.goo.ne.jp
URL: http://msmcit.ddo.jp/yh/
発行部数: 1500部



陶
ちゃんや
新・古美術
炉端庵 青木武士
TEL:055-972-4213
携帯 080-6960-5200

原発震災は人災だ!

福島原発事故の真相



ボロボロになった福島第一原発

3月11日、三陸沖から茨城県沖にかけて、マグニチュード(M)9の大地震が襲った。地震直後、巨大津波が追いつき、沿岸部一帯は壊滅的被害をこうむり、更に、福島第一原発の1号から4号機までが炉心溶融を起し、高濃度の放射線を撒き散らす前代未聞の大惨事となった。

福島第一原発事故は、炉心冷却装置がごとごとく故障し、炉心溶融という最悪の事態に至り、周辺に膨大な量の放射線を撒き散らしている。その汚染の深刻さは計り知れない。放射能汚染の回避・収束も目処が立たず、今後最悪の事態も予想される。

主張

震災による福島第一原発の1号機から4号機までが破壊され発電能力が失われた。その結果、東京電力管内では、今まで経験したことのない「計画停電」が実施され、市民生活の至る所で不便な生活が強いられる。

多くの人は「原発が止まったから電力不足になった」と勘違いしている。東電も政府も詳しい説明をしないまま、原発事故に右往左往するばかりで、国民には本当のことが伝わらない。

第1段階である大量の汚染水の排水・回収が難航。その後も循環・冷却システムの復旧など、いくつもの高いハードルが待っている。

今回の電力不足による計画停電は、原発だけでなく、火力発電所の広野(総出力380万kW)・常陸那珂(総出力100万kW)・鹿島(総出力440万kW)なども地震でストップしているためだ。これらの原発による発電を重視し、電力会社はこれまで原発に頼りすぎたことが、今回の電力不足の原因の一つである。

原発が止まると電力不足はワザ!

計画停電で電力不足の不安が広がるが、電力会社が復旧すれば停電は回避される。京大の原子力研究者小出裕章氏によると、「原発は我が国の発電量の30%を占めており、原発が止まると電力不足に陥る。抜きでは電力不足に陥る。抜きでは電力不足に陥る。抜きでは電力不足に陥る。」

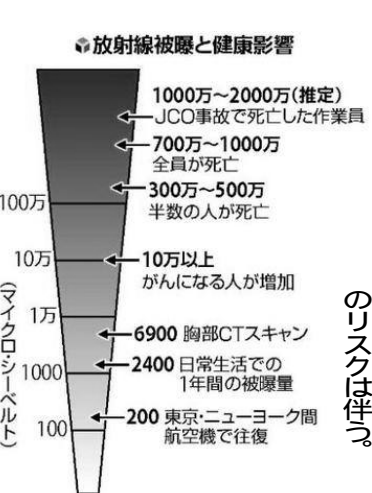
「想定外」の言葉を安んずる。電力会社だけでなく、これまで何もこの事態を警告しなかったテレビと、デタラメな解説をしている専門家と呼ばれる大学の教授たちである。NHKなどは「1000年に1度の巨大地震」と強調するが、この東北地方三陸沖地震の実害と、原発震災を起した原因は、津波であった。津波の脅威は、誰にも予知できなかった。非現実的だ、という。

しかし、脱原発を進める田中優氏の話では、再生可能エネルギー(風力、太陽光、バイオマスなど)で、電力はどのくらいまかなえるか? について、東京電力が東京大学に委託して調べた結果、関東地方沿岸50km以内の風車を建てたとしたら、2005年の東京電力の年間電力販売量とほぼ同じ電力が作れる、というもので、電力供給は、原発に頼らなくても自然エネルギーだけで可能である。そのことは、東京電力が十分承知の上だ。

放射線の単位とは

放射線の強さを表すのに、放射線が1kg当たりの物質にどれだけのエネルギーを与えたかを表す。そこで1kg当たり1ジュール(J)のエネルギーを与える強さを1グレイ(Gy)とする。

放射線には、線量率(線)の単位があり、線が他の



放射線による福島第一原発の放射能漏れで、広い範囲に放射能汚染が深刻な状況になっている。政府は、半径20km以内は退去、30kmまでは屋外退避としている。

人体に影響を及ぼす放射線強度はシーベルト単位の放射線が1kg当たりの物質にどれだけのエネルギーを与えたかを表す。そこで1kg当たり1ジュール(J)のエネルギーを与える強さを1グレイ(Gy)とする。

放射線には、線量率(線)の単位があり、線が他の

目に見えない怖い放射線

放射線量は1時間当たり0.037μSvであった。従ってこの場合、自然状態に比べ216倍の放射線強度であったことになる。

一般市民の年間被曝量は1μSv以下とされており、原発労働者は100μSvとされている。年間被曝量が500μSvを超えると、直接的な健康被害が出始め、3000μSvでは半数が死亡する。しかし、少量の被曝でも長期的には癌等の発病リスクは伴う。

原子炉を自動停止して、それを認めたら、昨年10月、老朽化した福島第一原発3号機でフルトニウム燃料を使った危険なプルサーマル営業運転に入った。

福島第一原発は耐震設計が日本の原発で最も低い270ガルで建設された。最も耐震性のない原発である。そこで、炉心溶融が起ったのだ。

原発は「止める」「冷やす」「閉じ込める」機能があるので大丈夫と宣伝してきたが、地震発生後自動停止した11基の原子炉のうち「冷温停止」したのは福島第二原発3号機と女川原発1・3号機の3基だけであり、残り8基が迷走中である。

NHKなどは、御用学者を動員して「史上空前のマグニチュード9.0」を強調しているが、建物の崩壊状況を見て分る通り、実際の揺れは、阪神大震災の方がはるかに強烈だった。この地震被害の原因は、揺れではなく、ほとんどが津波であった。

有象無象

東北・太平洋沿岸地震による大災害は、余りにも痛ましい。こんなにも酷い惨状はかつて見たこともない。多くの国民は、何かしなければと、かき立てられている。

即、出来ることは寄付金集め、衣類、日用品の調達などだが、それ等をどのように集めどどのように被災現地に届けるかだ。新聞・テレビの報道では現地は混乱して全国から届く救援物資が配布ルートも決まらないまま滞留しているという。

震災発生から既に3週間が経過し、20万人近い避難民の多くは、ダンボールで仕切った狭い区画で、毛布に包まって暮らす体育館や公的避難場所での生活は、既に限界状態にきている。

一夜も早く風呂に入れ、暖かい食事が出て、ひと時の安らぎを得る事の出来る屋根のある家が必要だ。

大津波や原発震災で避難した人々は、おそろしく長い期間、故郷には戻れないだろう。政府は仮設住宅や公営住宅、旅館、ホテルの借り上げなどを手配しているが、避難民全員が入居するには程遠い。

心ある全国の多くの人達は、自宅に空き部屋があるので無料で提供できる。民間の空き住宅があるので提供出来るという人々も多くいると考えられる。そうした情報を集め集約し、インターネットで公表し、被災地の人々に直接見てもらい、気に入ったら入居してもらおう仕組みが是非とも必要だ。各地でそのような取り組みが出来ないものか?

放射線被曝と健康影響

- 1000万~2000万(推定) JCO事故で死亡した作業員
- 700万~1000万 全員が死亡
- 300万~500万 半数の人が死亡
- 10万以上 がんになる人が増加
- 6900 胸部CTスキャン
- 2400 日常生活での1年間の被曝量
- 200 東京・ニューヨーク間航空機で往復

放射線量は1時間当たり0.037μSvであった。従ってこの場合、自然状態に比べ216倍の放射線強度であったことになる。

一般市民の年間被曝量は1μSv以下とされており、原発労働者は100μSvとされている。年間被曝量が500μSvを超えると、直接的な健康被害が出始め、3000μSvでは半数が死亡する。しかし、少量の被曝でも長期的には癌等の発病リスクは伴う。

シガーカット専門店
びょうしゅ ぬき
営業時間: 9:00-18:00
定休日: 水・第三日曜日
TEL: 055-972-6808

創作工房 WARAI
彫金 warai 河合隆男
TEL・FAX 055-952-0686
〒410-0022 沼津市大岡1190-1

唐良里
営業時間 午前10時~午後7時
休業日 毎週日曜日
〒411-0034 三島市加茂川町 4115-6
TEL 055-981-8666
FAX 055-973-8266

軽食&喫茶 (11:30-14:30)
スナック (18:00-23:00)
レインボー
三島田町駅前
(昼) 定食800円、珈琲付き
レインボーカレー700円
焼きそば500円
トースト・サラダ・珈琲600円
電話: 055-972-0005

カウンセリング・占術
お気軽にご相談下さい。
1件 5千円(1時間程度)
出張いたします。
お電話でのご相談もOK
メールにてご予約下さい。
mizuki-makoto@softbank.ne.jp
(090-1782-8880 杉山も可)
日本占術鑑定士協会会員
内閣府認定メンタルカウンセラー
三月 麻琴